

科研費獲得へのバージョンアップ——

研究計画調書の最終点検と進化策 II

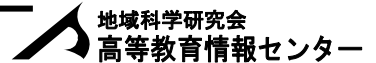
～申請者と URA との協働／チェックリストと改善例～

- ※ 申請・獲得数・獲得金額 5 年で 3 倍／単科医科大新規獲得件数 No. 1 へのノウハウ
- ※ 今から、何をどこまでできるか・やるか／どのようにやるか／28 年度支援に向けて
- ※ 民間企業からの理系・文系申請のトータル支援／支援者・URA への助言／データとツール
- ※ 「何をどう書くか」／執筆指導の実際／添削～研究者の立場から

● 講師陣 ●

中島 利博 氏 / 東京医科大学 医学総合研究所 教授
 岡野 恵子 氏 / (公) 横浜市立大学 先端医科学研究課 特任助教 URA
 中安 豪 氏 / ロバスト・ジャパン (株) 代表取締役
 大澤 崇人 氏 / (国研) 日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究センター 研究副主幹

2015 年 10 月 20 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



日時：2015 年 10 月 20 日 (火) 10:00～16:40
 会場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町) 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩 10 分
 ※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 35,000 円 (送料、消費税込)
 C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (消費税込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
 ☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 306

研究計画調書の最終点検と進化策 II

2015 年 月 日

(□に✓印を) 当日参加 メディア参加

支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込
必要書類 請求書 見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:20	<p><input type="checkbox"/> 東京医大が科研費申請数、獲得数、獲得金額を3倍にし、 単科私立医大としてNo.1の新規獲得件数となった5年間の軌跡</p> <p style="text-align: right;">東京医科大学 中島 利博</p>
11:30 } 12:50	<p><input type="checkbox"/> 研究計画調書のチェックポイントと支援の実際</p> <p style="text-align: right;">横浜市立大学 岡野 恵子</p> <p>1. 何をどこまでできるか・やるか</p> <p>(1) 考慮すべき要素の現状把握</p> <p>(2) 支援範囲・優先順位設定を含めた戦略の立案</p> <p>(3) 現時点でもできそうなことから戦術を選択</p> <p>2. どのようにやるか</p> <p>(1) 1. に基づく計画策定と調整</p> <p>(2) 計画の実行</p> <p>(3) 注意点</p> <p>3. 28年度支援に向けて</p> <p>(1) 被支援者からのフィードバックと振り返り</p> <p>(2) より時間がある場合にできること</p> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
13:50 } 15:10	<p><input type="checkbox"/> 科研費獲得に向けた申請書のスキルアップ ～研究支援が機能するための要件は～</p> <p style="text-align: right;">ロバスト・ジャパン 中安 豪</p> <p>1. 科研費申請とは</p> <p>(1) 大学にとっての科研費申請</p> <p>(2) 研究者にとっての科研費申請</p> <p>(3) 研究支援部門は支援をしているのか?</p> <p>(4) 科研費だけで満足しますか?</p> <p>2. 支援者としてのスキルアップ</p> <p>(1) 研究者の気持ちは理解できますか?</p> <p>(2) 研究計画は何で出来ているのか?</p> <p>(3) ポジショニングが全て</p> <p>(4) 審査結果は活用されていない</p> <p>3. 科研費申請において有効なデータとツール</p> <p>(1) データベースの価値は理解されていない</p> <p>(2) 審査関連の情報はどれくらい役立つのか?</p> <p>(3) 採択可能性を高める申請戦略</p> <p>(4) 大学の価値を高める申請戦略</p> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
15:20 } 16:40	<p><input type="checkbox"/> 科学研究費補助金等の申請書執筆指導の実際 ～申請書には何をどう書けばいいのか～</p> <p style="text-align: right;">日本原子力研究開発機構 大澤 崇人</p> <p>1. 科学研究費補助金の位置付け</p> <p>2. 申請書添削の実際</p> <p>3. 申請書執筆入門</p> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>